

## 附表

---

附表1 石造物観察表A

No	ID	類別	型式	家紋位置	正面方向	割手部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材	
1	A001	基碑	廻		南	内面位置	享保14	1729	釈：9代当主貴徳2女孝高月幻形童子		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	灰田土石	
2	A002	基碑	廻		南	内面位置	享保16	1731	釈：9代当主貴徳2男徳五郎兼本幻形童子		乙	臨海部に埋納。後に改葬か。	灰田土石	
3	A003	基碑	廻		南	内面位置	宝永6	1709	釈：8代当主忠直長女ウキ屋幻形童子		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	灰田土石	
4	A004	基碑	廻		南	内面位置	宝永5	1708	釈：8代当主忠直長男安二郎香殿幻形童子		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	灰田土石	
5	A005	基碑	実徳角柱形		南	塔身	慶長20	1615	釈：4代当主久信四男千法師		甲		灰田土石	
6	A006	基碑	廻		南	内面位置	安永5	1776	釈：11代当主貴山長女調装玉心寄露神妻女		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	灰田土石	
7	A007	基碑	廻		四方	南	内面位置	天明4	1784	釈：9代当主貴徳3女重孫伊賀殿砂屋日解大姉		甲	摩訶寺に埋葬。後に改葬か。朱塗りの痕跡が確認できる。	灰田土石
8	A008	基碑	宝篋印塔		南	塔身	元文3	1738	釈：8代当主忠直孫芳正阮殿元明白雲大姉	宝珠無 相輪無	乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石	
9	A009	基碑	宝篋印塔		南	塔身	正徳元	1711	釈：8代当主忠直性空阮殿砂屋印海大居士	宝珠無 相輪無	乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石	
10	A010	甍鏡	D1型		東	塔身			釈：忠直 (A009) 鏡：家臣 対：A012		乙		灰田土石	
11	A011	甍鏡	D1型		東	卒			釈：忠直 (A009) 鏡：A013		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	灰田土石	
12	A012	甍鏡	D1型		北	卒	正徳元	1711	釈：忠直 (A009) 鏡：家臣 対：A010	宝珠無 火袋無	甲	モルタルによる層の痕跡が確認できる。	灰田土石	
13	A013	甍鏡	D1型		西	卒			釈：忠直 (A009) 鏡：対：A011	宝珠無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	灰田土石	
14	A014	石輪	六面地蔵塔		南	護身	元治2	1865	釈：貴典 (P013) 鏡：貴典 (H016)		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石	
15	A015	基碑	廻		南	内面位置	享保15	1730	釈：9代当主貴徳長男徳十郎常徳幻形童子		乙		灰田土石	
16	A016	甍鏡	D3型		西	塔身			釈：鏡：対：A016	宝珠無 火袋無	甲	柱鼻、中台は別の圓体の可塑性あり	灰田土石	
17	A017	基碑	廻		南	内面位置					乙		灰田土石	
18	A018	基碑	その他		南	塔身			釈：A016		甲		灰田土石	
19	A019	石輪	六面地蔵塔		南	護身	元禄3	1690	釈：久治原 (H013) 鏡：久治 (H014)		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石	
20	A020	甍鏡	A型		南	塔身			釈：鏡：対：A020	宝珠無 火袋無	甲	中に彫有	吉野石 (その他②)	
21	A021	甍鏡	A型		南	塔身			釈：鏡：対：A021	宝珠無 火袋無	乙	中に彫有	吉野石 (その他②)	
22	A022	手水鉢	A型		南	鉢			釈：鏡：対：A022		甲	断面六角形	吉野石 (その他②)	
23	A023	基碑	実徳角柱形		南	塔身	大三元	1912	釈：15代当主貴徳2女孝孝妻貞照命		甲		吉野石 (その他②)	
24	A024	甍鏡	D1型		西	塔身			釈：鏡：対：A023 ?		乙		吉野石 (その他②)	
25	A025	甍鏡	A型		西	塔身			釈：鏡：対：A025 ?	火袋無 中台無	甲	中に彫有	吉野石 (その他②)	
26	A026	甍鏡	A型		西	塔身			釈：鏡：対：A026 ?		甲	中に彫有	吉野石 (その他②)	
27	A027	石輪	六面地蔵塔		南	護身	元禄5	1692	釈：久治 (H014) 鏡：忠直 (A009)		甲		花尾石	
28	A028	甍鏡	D3型		東	塔身			釈：貴徳 (H003) 鏡：子貴徳 (姓名) 対：A030		甲		吉野石 (その他②)	
29	A029	手水鉢	A型		西	基礎			釈：貴徳 (H003) 鏡：子貴徳 (姓名) 対：A030		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)	
30	A030	甍鏡	その他		西	塔身			釈：貴徳 (H003) ? 鏡：対：A030		甲		吉野石 (その他②)	
31	A031	甍鏡	その他		西	塔身			釈：貴徳 (H003) ? 鏡：対：A031		甲		吉野石 (その他②)	
32	A032	甍鏡	その他		東	塔身			釈：貴徳 (H003) ? 鏡：対：A032		甲		吉野石 (その他②)	
33	A033	甍鏡	その他		東	塔身			釈：貴徳 (H003) ? 鏡：対：A029		甲		吉野石 (その他②)	

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種別	型式	家紋位置	正面方向	階序部分	和暦	西暦	村迄関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材
34	A004	手水鉢	水鉢花立	西	西				棟: 貞徳 (H003) ? 礎: A:029		甲		吉野石 (その他②)
35	A005	手水鉢	A類		東	基礎			棟: 貞徳 (H003) ? 礎:		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
36	B001	墓碑	前			内部位牌					丙		反田土石
37	B002	墓碑	実徳角柱形		南	塔身	大正15	1906	棟: 15代当主貴徳重足 礎: 徳春栄徳命		甲		吉野石 (その他②)
38	B003	墓碑	実徳角柱形		南	塔身	明治25	1892	棟: 15代当主貴徳 礎: 徳重足徳命		甲		吉野石 (その他②)
39	B004	甕籠	D3類		東	塔身			棟: 貞徳 (H003) 礎: 子貴柳 (通名) 対: D:025	火袋無	甲		吉野石 (その他②)
40	B005	甕籠	D3類		東	塔身			棟: 貞徳 (H003) 礎: 子貴柳 (通名) 対: D:004	火袋無 中台無	甲		吉野石 (その他②)
41	B006	甕籠	D1類		西	塔身			棟: 貞徳 (H003) 礎: D:007		甲	床巻りの痕跡が確認できる。	吉野石 (その他②)
42	B007	甕籠	D1類		西	塔身			棟: 貞徳 (H003) 礎: D:006	火袋無	甲		吉野石 (その他②)
43	B008	甕籠	その他		東	塔身			棟: 貞徳 (H003) 礎: 対:		甲		吉野石 (その他②)
44	B009	甕籠	その他		東	塔身			棟: 貞徳 (H003) 礎: 対:		甲		吉野石 (その他②)
45	B010	甕籠	D1類		東	塔身	明治25	1892	棟: 貞徳 (H003) 礎: 対:		乙		吉野石 (その他②)
46	B011	手水鉢	A類		東	鉢			棟: 貞徳 (H003) 礎: 対:		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
47	B012	手水鉢	A類		西	鉢			棟: 貞徳 (H003) 礎: 対:		甲	断面六角形	吉野石 (その他②)
48	B013	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	元禄3	1690	棟: 7代当主久治弘月 礎: 徳龍徳意貞徳大居士		乙		花尾石
49	B014	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	元禄3	1692	棟: 7代当主久治 礎: 徳龍徳意貞徳大居士		乙		花尾石
50	B015	甕籠	D1類		東	塔身			棟: 久治 (D014) 礎: D:017	宝珠無	甲		反田土石
51	B016	甕籠	D1類		東	塔身			棟: 久治 (D014) 礎: D:018	宝珠無	甲		反田土石
52	B017	甕籠	D1類		西	塔身			棟: 久治 (D014) 礎: D:015	宝珠無	甲		反田土石
53	B018	甕籠	D1類		西	塔身	元禄8	1695	棟: 久治 (D014) 礎: 兼良 ? 対: D:016		甲		反田土石
54	B019	その他	礎等		西	塔身			棟: 久治 (D014) 礎: 対: 二層、三層筋飾。礎盤に作成したものを設置。		甲		花尾石
55	C001	甕籠	D3類						棟: 貞徳長男 (C002) 礎: 対:	火袋無	甲		反田土石
56	C002	墓碑	前		南	内部位牌	宝暦8	1758	棟: 10代当主貴徳長男 礎: 3代成淳月大輝重子		乙		反田土石
57	C003	墓碑	実徳角柱形		南	塔身	大正2	1913	棟: 14代当主貴徳長女実徳 礎: 貴徳龍命		甲		吉野石 (その他②)
58	C004	甕籠	その他			塔身			棟: 実徳 (C003) 礎: C:006		甲		吉野石 (その他②)
59	C005	甕籠	その他			塔身			棟: 実徳 (C003) 礎: 対: C:007		甲		吉野石 (その他②)
60	C006	甕籠	その他			塔身			棟: 実徳 (C003) 礎: C:004		甲		吉野石 (その他②)
61	C007	甕籠	その他			塔身			棟: 実徳 (C003) 礎: C:005		甲		吉野石 (その他②)
62	C008	手水鉢	A類			鉢			棟: 実徳 (C003) 礎:		甲		吉野石 (その他②)
63	C009	墓碑	実徳角柱形		南	塔身	大正6	1917	棟: 14代当主貴徳3女貴 礎: 徳高徳命		甲		吉野石 (その他②)
64	C010	甕籠	その他		東	塔身			棟: 益 (C009) 礎: C:012		甲		吉野石 (その他②)
65	C011	甕籠	その他		東	塔身			棟: 益 (C009) 礎: C:013		甲		吉野石 (その他②)
66	C012	甕籠	その他		西	塔身			棟: 益 (C009) 礎: C:010		甲		吉野石 (その他②)



附表1 石造物観察表A

No	ID	種別	型式	家紋 位置	正面 方向	附字 部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存 区分	備考	石材
100	E007	燈籠	D1型		西	文久3	1863	棟：貴高俊宗 (E001) 礎：13代真向大居士 肘：E004			甲		反田土石
101	E008	石幢	六面 地蔵塔		東	鎌倉	享保10	1725	棟：飯元十右衛門盛基 源安宗智庵土 礎：九治 (F041) 家臣 肘：飯元十右衛門盛 (E010) 肘：飯元十右衛門盛 (E010) 肘：飯元十右衛門盛 (E010) 肘：飯元十右衛門盛 (E010)		乙	朱櫓りの痕跡が確認できる。	花尾石
102	E009	燈籠	その他		北	塔身			棟：飯元十右衛門盛 (E010) 礎：飯元十右衛門盛 (E010) 肘：飯元十右衛門盛 (E010) 肘：飯元十右衛門盛 (E010)		甲	副體の扉葉が設置されている	吉野石 (その他)
103	E010	碑	亀鏡碑		東	卒	享保10	1725	棟：飯元十右衛門盛基 源安宗智庵土 礎：貴備 (F046)		甲	朱櫓りの痕跡が確認できる。	吉野石 (その他)
104	E011	墓碑	前		南	内股 位置	明治9	1772	棟：9代貴備4女将		乙	朱櫓りの痕跡が確認できる。	反田土石
105	H004	石幢	六面 地蔵塔		南	鎌倉	天明6	1786	棟：貴品守 (F003) 礎：貴朝 (D003)		乙		花尾石
106	F001	墓碑	前		南	内股 位置	天保5	1834	棟：12代当主貴朝6男源盛 源徳院殿天眞智徳大居士		甲		反田土石
107	F002	燈籠	D1型		東	塔身			棟： 礎： 肘：	宝珠無 火袋欠	乙		反田土石
108	F003	墓碑	前		南	内股 位置	文政9	1812	棟：12代当主貴朝4男源盛 天章院殿芳含智徳大居士		甲		反田土石
109	F004	墓碑	前		南	内股 位置			棟：		甲		反田土石
110	F005	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	元禄9	1623	棟：4代当主久信親重 22心泉池大佛堂門		甲	台石に4基	反田土石
111	F006	墓碑	宝篋 印塔		南				棟：		乙		反田土石
112	F007	墓碑	宝篋 印塔		南	内股 位置	文久3	1863	棟：12代当主貴朝俊宗 源祥院殿殿宗慈宗大居士	相輪無 宝珠無	甲	朱櫓りの痕跡が確認できる。	花尾石
113	F008	燈籠	D1型		東	塔身	文政元	1818	棟： 礎： 肘：		甲		反田土石
114	F009	燈籠	D1型		東				棟：貴朝俊宗 (F006) 礎： 肘：	火袋無	甲		反田土石
115	F010	燈籠	D1型		西	塔身			棟：貴朝俊宗 (F006) 礎：家臣 肘：		甲		反田土石
116	F011	墓碑	前		南	内股 位置	天保9	1838	棟：13代当主貴朝3女御 源高江崎母貴女		甲	朱櫓りの痕跡が確認できる。	反田土石
117	F012	墓碑	矢頭 角柱形		南	塔身	明治9	1876	棟：貴典定 源法善院院命		甲	川添河原地区内に埋葬。後に改葬か。	吉野石 (その他)
118	F013	燈籠	その他		東	塔身	明治9	1876	棟：貴典定 (F011) 礎： 肘：F014		甲		吉野石 (その他)
119	F014	手水鉢	A型		東	鉢	明治9	1876	棟：貴典定 (F011) 礎： 肘：		甲	前面四角形	吉野石 (その他)
120	F015	燈籠	その他		東	塔身	明治9	1876	棟：貴典定 (F011) 礎： 肘：F012		甲		吉野石 (その他)
121	F016	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	元治2	1865	棟：13代当主貴朝 賢徳院殿仁昌頼山大居士		甲	朱櫓りの痕跡が確認できる。	花尾石
122	F017	燈籠	D1型		東	塔身	元治2	1865	棟：貴典 (F015) 礎： 肘：F030	宝珠無 火袋無	甲		反田土石
123	F018	燈籠	D1型		東	塔身	元治2	1865	棟：貴典 (F015) 礎： 肘：F021	火袋無	甲		反田土石
124	F019	燈籠	D1型		西	塔身	元治2	1865	棟：貴典 (F015) 礎： 肘：	扉蓋欠	甲		反田土石
125	F020	燈籠	D1型		西	塔身	元治2	1865	棟：貴典 (F015) 礎：14代貴教 肘：F017	扉蓋欠	甲		反田土石
126	F021	燈籠	C型		西	塔身	元治2	1865	棟：貴典 (F015) 礎：15代貴朝 肘：F018	扉蓋欠	甲		反田土石
127	H005	石幢	六面 地蔵塔		南	鎌倉	文化13	1816	棟：貴品 (F064) 礎：貴朝 (D003)		甲	朱櫓りの痕跡が確認できる。	花尾石
128	F022	墓碑	前		南	内股 位置	文久3	1863	棟：14代当主貴朝2女将 秋涼院殿花頼紗織大姉		甲		反田土石
129	F023	墓碑	前		南	内股 位置	天保9	1838	棟：13代当主貴朝2男高二郎 主林幻光禅童子		甲		反田土石
130	F024	燈籠	D1型		南	塔身	天保5	1834	棟：高二郎 (F023) 礎：家臣 肘：	宝珠無 火袋無	甲	副體の扉葉・宝珠が設置されている	反田土石
131	F025	燈籠	D1型		東	塔身	文久3	1863	棟：村 (F022) 礎：家臣 肘：	宝珠無 火袋無	甲		反田土石
132	F026	墓碑	矢頭 角柱形		南	塔身	昭和15	1940	棟：14代貴教兼子勝彦		甲		吉野石 (その他)

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種類	型式	家紋 位置	正面 方向	割字 部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存 区分	備考	石材
132	F027	燈籠	D1型		東	塔身			概：F026 礎：F029		甲		吉野石 (その他)
134	F028	燈籠	C類 または D類		東	塔身			概：F026 礎：F029	宝珠無 火袋無 中台無	甲		吉野石 (その他)
135	F029	燈籠	その他		西	塔身			概：F026 礎：F027		甲	形状はD類を模している	吉野石 (その他)
136	F030	手水鉢	A型		西	鉢			概：F026 礎：F027		甲	断面四角形	吉野石 (その他)
137	F031	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	寛永14	1637	概：8代当主久保 昌康(昌康居士)		甲	奥野安楽寺に無残。昭和60年 に改葬。	反田土石
138	J001	墓碑	その他		南		昭和43	1968	概：16代当主茂輔 16代貞梅室		甲	初代志祥(心善大覚大居士)、 3代和久(大正御幸大佛定印)、 4代久保(昌康昌康居士)も合 葬	その他
139	H006	石欄	六面 地蔵塔		南	鎌倉	貞享4	1687	概：忠配(1810) 礎：久治(1814)		甲		花尾石
140	H007	石欄	六面 地蔵塔		南	鎌倉	文政7	1824	概：貴彦室(2001) 礎：貴品(1954)		甲		花尾石
141	H008	石欄	六面 地蔵塔		南	鎌倉	文化8	1807	概：貴彦(2002) 礎：貴品(1954)		甲		花尾石
142	H009	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	万治1	1658	概：6代当主忠配室 兼善(芳太郎)		甲		反田土石
143	H010	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	正保4	1647	概：6代当主忠配 兼善(義隆)と兼善(大居士)		甲	江戸廣島院に遺存。遺骨を贈 心寺(心音寺)に。	反田土石
144	H011	手水鉢	A型		東	鉢			概：忠配室(1810) 礎：F029		甲	断面六角形	反田土石
145	H012	燈籠	D1型		南	塔身			概：忠配室(1810) 礎：1814	宝珠無 火袋無	甲	等に類有	反田土石
146	H013	燈籠	D1型		南	塔身			概：忠配室(1810) 礎：1815	宝珠無 火袋無	甲	等に類有	反田土石
147	H014	燈籠	C類		南	塔身			概：忠配室(1810) 礎：F029	火袋無	甲	等に類有	反田土石
148	H015	燈籠	D1型		南	塔身			概：忠配室(1810) 礎：1813		甲	等に類有	反田土石
149	F032	手水鉢	A型		東	鉢			概：瑞之(F033) 礎：F029		甲	断面四角形	吉野石 (その他)
150	F033	墓碑	天満 角柱形		南	塔身	明治3	1870	概：14代貴教3男房之		甲		吉野石 (その他)
151	F034	墓碑	天満 角柱形		南	塔身	明治24	1891	概：14代当主貴義重子善吉 兼藤室吉彦		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	吉野石 (その他)
152	F035	墓碑	天満 角柱形		南	塔身	大正9	1920	概：島津勝彦6男兼房		甲		吉野石 (その他)
153	F036	燈籠	その他		西	塔身	明治14	1881	概：泰吉(F034) 礎：F029		甲		吉野石 (その他)
154	F037	手水鉢	A型		南	鉢	明治14	1881	概：泰吉(F034) 礎：F029		甲	断面六角形	吉野石 (その他)
155	F038	墓碑	天満 角柱形		南	塔身	明治9	1876	概：15代貴徳長男久寿		甲		吉野石 (その他)
156	F039	燈籠	その他		東	塔身			概：F026 礎：F029		甲		吉野石 (その他)
157	F040	手水鉢	A型		西	鉢			概：F026 礎：F029		甲	断面四角形	吉野石 (その他)
158	F041	墓碑	天満 角柱形		南	塔身	明治17	1884	概：15代当主貴徳長女頼 澄(義隆)兼命		甲		吉野石 (その他)
159	F042	燈籠	その他		西	塔身	明治17	1884	概：頼(F041) 礎：F029		甲		吉野石 (その他)
160	F043	手水鉢	A型		西	鉢	明治17	1884	概：頼(F041) 礎：F029		甲	断面六角形	吉野石 (その他)
161	F044	墓碑	前		南	内股 位置	宝暦11	1761	概：9代当主貴徳6男兼義 清(義隆)兼明月心大居士		甲		反田土石
162	F045	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	元文1	1736	概：9代当主貴徳室 兼清(義隆)兼心成(大居士)	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	8代当主忠武の娘 朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
163	F046	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	寛政3	1791	概：9代当主貴徳 兼善(義隆)兼藤室大居士	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
164	F047	燈籠	F型		東	塔身			概：貴彦(F045) 礎：高井久平(大居士) F050	宝珠無	甲	鎌倉断面円形	反田土石
165	F048	燈籠	D1型		南	塔身	寛政3	1791	概：貴彦(F045) 礎：要阿賀祐夫(大居士) F051	宝珠無 火袋無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石

附表1 石造物観察表A

No	ID	種別	型式	家紋 位置	正面 方向	階宇 部分	和暦	西暦	村迄関係	遺存状況	遺存 区分	備考	石材
166	F049	燈籠	D1型		南	塔身	寛政3	1791	概：貴備 (F045) 礎：高塚久太郎 肘：F052	宝珠無 火袋無	甲		反田石
167	F050	その他	火焼 破型		南	塔身	寛政3	1791	概：貴備 (F045) 肘：F047	火焼部欠 鉄釘部欠	甲	貴備は直前に在り。宗家25代 当主重家の御始首も附めた ことから、火焼部の火焼、鉄釘、 火重家の墓石が用いられてい る。	吉野石 (その他②)
168	F051	燈籠	C型		南	塔身	文化3	1806	概：貴備 (F045) ? 礎：F048	宝珠無 火袋無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田石
169	F052	燈籠	D1型		南	塔身	寛政3	1791	概：貴備 (F045) 礎：同上久藤 肘：F049	宝珠無	甲		反田石
170	F053	基碑	宝篋 印塔		南	塔身	天明6	1786	概：11代当主貴澄宗 清賢辰蔵上宮貞豊大居士		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
171	F054	基碑	宝篋 印塔		南	塔身	文化13	1816	概：11代当主貴品 宝篋辰蔵仁孝宗家大居士	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
172	F055	燈籠	D1型		東	塔身	天明8	1788	概：貴品宗 (F053) 礎：貴品 肘：F056	宝珠無	甲		反田石
173	F056	燈籠	D1型		北	塔身	天明8	1788	概：貴品宗 (F053) 礎：貴品 肘：F055		甲	同個体の宝珠？	反田石
174	F057	燈籠	D1型			塔身			概：貴品 (F064) 礎： 肘：	火袋無	甲		反田石
175	F058	燈籠	D3型		西	塔身			概：貴品 (F064) 礎： 肘：	火袋無	甲		反田石
176	F059	燈籠	C型		西	塔身	文化13	1816	概：貴品 (F064) 礎： 肘：F060	宝珠無	甲		反田石
177	F060	燈籠	D1型		西	塔身	文化13	1816	概：貴品 (F064) 礎： 肘：F059		甲		反田石
178	G001	基碑	宝篋 印塔		南	塔身	文政7	1824	概：10代当主貴澄宗 徳誠辰蔵月砂宗大居士	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
179	G002	基碑	宝篋 印塔		南	塔身	文化4	1807	概：10代当主貴澄 普徳辰蔵山元宗大居士	宝珠無 相輪無 笠欠 塔身欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
180	G003	燈籠	D1型		北	塔身	文政7	1824	概：貴澄宗 (G001) 礎： 肘：G006		甲		反田石
181	G004	燈籠	C型		東	塔身	文化5	1808	概：貴澄 (G002) 礎： 肘：G007		甲		反田石
182	G005	燈籠	D1型		東	塔身	文化5	1808	概：貴澄 (G002) 礎： 肘：G008	火袋無	甲		反田石
183	G006	燈籠	D1型		西	塔身	文化5	1808	概：貴澄 (G002) 礎： 肘：	火袋無	甲		反田石
184	G007	燈籠	D1型		西	塔身			概：貴澄 (G002) 礎： 肘：G004	宝珠無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田石
185	G008	燈籠	C型		西	塔身	文化5	1808	概：貴澄 (G002) 礎：貴澄宗 (G001) 肘：G005	宝珠無	甲		反田石
186	H016	基碑	尖頭 角柱形		南	塔身	明治23	1890	概：14代当主貴義 龜造政彦		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	吉野石 (その他②)
187	H017	燈籠	その他		西	塔身			概：貴義 (H016) 礎： 肘：H018		甲		吉野石 (その他②)
188	H018	燈籠	その他		東	塔身	明治23	1890	概：貴義 (H016) 礎： 肘：H018		甲		吉野石 (その他②)
189	H019	燈籠	D1型		東	塔身			概：貴義 (H016) 礎： 肘：		甲	同個体の屋蓋が設置されてい る。	吉野石 (その他②)
190	H020	基碑	尖頭 角柱形		南	塔身	正保4	1647	概：取元太郎右衛門正安 院 忠配家臣 肘：H021		甲	忠配への殉死墓 塔身の前面六角形	反田石
191	H021	基碑	尖頭 角柱形		南	塔身	正保4	1647	概：田中徳兵衛正興 院 忠配家臣 肘：H020		甲	忠配への殉死墓 塔身の前面六角形	反田石
192	H022	手水鉢	A型		西	鉢	明治23	1890	概：貴義 (H016) 礎：		甲	前面六角形	吉野石 (その他②)
193	F061	基碑	その他		東	塔身			概：		甲		反田石
194	G009	手水鉢	B型		東	鉢	寛政3	1791	概：貴備 (F046) 礎：		甲		反田石
195	I001	基碑	巖		南	内部 位牌	天明14	1843	概：13代貴赤4男哲義		乙		反田石
196	I002	基碑	尖頭 角柱形		南	塔身	明治10	1877	概：14代当主貴澄宗 心相八百足郎		甲		吉野石 (その他②)
197	I003	燈籠	その他		東	塔身			概：貴政宗 (I002) 肘：		甲		吉野石 (その他②)
198	K001	基碑	宝篋 印塔		南	塔身	寛永元	1624	概：5代当主久敏 殿心良忠大居士	宝珠欠 相輪欠 笠欠	甲		反田石

附表2 石造物観察表B

No.	ID	類別	題字内容			
			正額 (10)	左 (11)・(12)	寶篋 (13)	右 (14)・(15)
1	A001	基碑	高月幻舞童子 五月十五日			
2	A002	基碑	樂奉幻舞童子			
3	A003	基碑	藤口舞白童子 五月十五日			
4	A004	基碑	高橋幻舞童子 五月十二日			
5	A005	基碑	夜婆 種子千足二命			慶長二十〇乙卯 千足殿
6	A006	基碑	玉心齋釋迦女			
7	A007	基碑	大明四甲宮 藤原院殿妙日御大姉 八月二十五日			
8	A008	基碑	元文二戊午白 子三院院殿妙日御大姉 二月十有一日奠	改裝 花繪磨刀白命		
9	A009	基碑	正徳元大 性空院殿淨海御大姉上 御印二曆六月二十五日	改裝 □法護觀光奉命		
10	A010	燈籠	佛堂造石燈籠		…南門 …(1)真	
11	A011	燈籠	□常照石燈籠	九月廿廿日	□正院工工	
12	A012	燈籠	佛堂造石燈籠	九月廿廿日	有田明長 志願	正徳元光〇〇
13	A013	燈籠	佛堂造石燈籠			
14	A014	石燈	高津院殿仁壽御山大神上	正月十日	高津貴徳造之助	元治二乙丑歲
15	A015	基碑	常盤幻舞童子			
16	A016	燈籠				
17	A017	基碑	…大工子			
18	A018	基碑	佛堂造	本野(南門)之基		寛政三工工七日 高津入由立助 曾元隆三殿千歲
19	A019	石種	高津院殿佛堂釋迦大姉菩提	元禄三年庚午歲二月十三日 平〇元隆三殿千賀月〇日	高津去妻真方〇	
20	A020	燈籠	佛堂 内二南古			
21	A021	燈籠	佛堂 半屋十ツ 高田夕子			
22	A022	手水鉢	高橋千代 藤原中上 有留千代	中屋中上 佐助中上		出本門子 赤坂三〇
23	A023	基碑	大正元年 參堂費用御命	十月二十日	又四郎貴徳 二女貴子 萬二十六歳	明治十九年十月二十九日生
24	A024	燈籠	佛堂			
25	A025	燈籠	佛堂			
26	A026	燈籠	佛堂 横口七方 岩尾中上 龜尾目 之〇 龜尾用 之〇			
27	A027	石種	只部院御堂高津大姉菩提	…實 …久治監	□〇元隆三殿月〇日	□元隆五手申藏 …王敬白
28	A028	燈籠	佛堂 高津貴徳 高津實徳			
29	A029	手水鉢	水鉢 高津貴徳 高津實徳			
30	A030	燈籠	久安			
31	A031	燈籠	横口安壽 穴原景吉			
32	A032	燈籠	佛堂			
33	A033	燈籠	佛堂 肥後幸造 穴原景吉			
34	A034	手水鉢	佛堂			
35	A035	手水鉢	佛堂			
36	B001	燈				
37	B002	基碑	足腰孫守御命	明治元年四月九日生 大正十五年一月二十七日没	高津春子	行年五九
38	B003	基碑	梅宮風神御命	萬統元年三月二十八日生		明治二十五年六月十一日没
39	B004	燈籠	佛堂 高津貴徳 高津實徳 高津久安			
40	B005	燈籠	佛堂 高津貴徳 高津實徳 高津久安			
41	B006	燈籠	佛堂			高津貴徳 〇子 七五
42	B007	燈籠	佛堂			川上 繁 穴原 龜輔
43	B008	燈籠	佛堂 穴原景吉 横口康彦			
44	B009	燈籠	佛堂 杉尾丁吉 穴原景吉 第一之			
45	B010	燈籠	佛堂	野田貞道 野田辰三 大山宗藏	野田宗助 小田敬治	明治二十五年六月十一日
46	B011	手水鉢	佛堂			
47	B012	手水鉢	佛堂			
48	B013	基碑	百太郎三郎千歳 月津院院殿高津大姉 九月二十三	改裝 月桂伊勢御命		
49	B014	基碑	曾元隆五手申藏 安徳院殿藤原高津大姉上 七月二十七	改裝 百足八十個御命		
50	B015	燈籠				
51	B016	燈籠	佛堂 佛堂造石燈籠	□吉野二院		
52	B017	燈籠				
53	B018	燈籠	佛堂造石燈籠		〇次郎長藏入〇	元禄八乙未歲



附表2 石造物観察表B

No.	ID	類別	題字内容			
			正額 (①)	左 (②・③)	寶印 (④)	右 (⑤・⑥)
54	D019	手水鉢				
55	C001	佛龕				
56	C002	基碑	以迄淨月大禪堂子			
57	C003	基碑	息足東御願命	嘉永五年十二月二十九日生		大正二年十二月二十一日没
58	C004	佛龕	益子 修造			
59	C005	佛龕	櫻口安彦 京原景吉			
60	C006	佛龕				
61	C007	佛龕	櫻橋幸徳 京原景吉			
62	C008	手水鉢	修造			
63	C009	基碑	櫻橋高良願命	安政六年五月二十日生	貞徳三女 院跡マ子	大正六年十月二十五日
64	C010	佛龕				
65	C011	佛龕	櫻口安彦 京原景吉			
66	C012	佛龕	益子 修造 梅子 貞徳			
67	C013	佛龕	櫻橋幸徳 京原景吉			
68	C014	手水鉢	修造			
69	D001	基碑	天保五年辛酉歲 女醫院敷地真直大禪堂女 六月二十三日			
70	D002	基碑	文化十四丁辛卯 金相院敷地宗妙大師 七月二十九年九月			
71	D003	基碑	天保四年癸巳 女醫院敷地宗靜水大師上 十月朔四日	改鑄 宗泉屋願命		
72	D004	佛龕	奉寄進		文政八年(己)七月	末川流之介 末川謙之介 末川三太 清春院
73	D005	佛龕	奉寄進	天保二…九月日		
74	D006	佛龕	奉寄進	和石堂大夫 二		
75	D007	佛龕	奉寄進		文政元年(庚)七月	貞典
76	D008	佛龕				
77	D009	佛龕		貞典内		天保二年甲申九月日
78	D010	佛龕		清春院		天保五年甲申九月日
79	D011	佛龕				
80	D012	佛龕			文…七月日 寶印	
81	D013	佛龕	奉寄進		天保四年(庚)五月日	
82	D014	石欄	信譽壽白芳大師菩提	季(己)廿八日		千(丁)工(丙)三(天)
83	D015	石欄	仁工院敷地慈母大師菩提	…月二十九日	…津貴…立願	文久三年癸亥 …月吉日 …月吉日
84	D016	石欄	…菩提	…立願	…墓?	…月吉日 …月吉日
85	D017	石欄	信譽壽院敷地慈母山大師菩提	三月朔十日	嶋津貴禮立願	文久三年辛亥 …月吉日 …月吉日
86	D018	石欄	…大師菩提	…誓 …願立願	…墓?	…月吉日 …月吉日
87	D019	石欄	…林妙好大師菩提	…誓 …願立願	…墓?	…月吉日 …月吉日
88	D020	石欄	…海印院大師菩提	正徳天皇御願 …四年戊寅(丙)月吉日	…津貴禮立願 …二十五誓	…月吉日 …月吉日
89	D021	石欄	信譽壽院敷地宗靜水大師菩提	…誓十月朔四日	嶋津貴禮立願	天保四年癸巳 …月吉日
90	D022	石欄	信譽壽院敷地慈母山大師菩提	五月朔四日	嶋津貴禮立願	文化十四丁壬辰
91	H001	基碑				
92	H002	基碑	仁直立人博士 六月二十九日			
93	H003	基碑				
94	D001	基碑	信譽壽院敷地慈母山大師菩提	文化十四年五月朔四日		
95	D002	佛龕	佛龕		文久三年(丁)四月吉日	
96	D003	佛龕	佛龕		文久三年(丁)四月吉日	嶋津貴禮立願
97	D004	佛龕	佛龕		文久三年(丁)四月吉日	嶋津貴禮立願
98	D005	佛龕	佛龕		文久三年(丁)四月吉日	
99	D006	佛龕	佛龕		文久三年(丁)四月吉日	
100	D007	佛龕	佛龕		文久三年(丁)四月吉日	
101	D008	石欄	信譽壽院敷地慈母山大師菩提	十二月十日三日		…(己)十七日巳
102	D009	佛龕				
103	H010	碑	佛三尊影相			
104	H011	基碑	昭和九 信譽壽院敷地宗靜水大師 十一月七日			
105	H004	石欄	信譽壽院敷地慈母山大師菩提	九月十日	嶋津貴禮立願	天保六年甲申
106	F001	基碑	天保五年甲午十月吉日 信譽壽院敷地宗靜水大師上 十月十七日			
107	F002	佛龕				
108	F003	基碑	文政九年丙戌 信譽壽院敷地宗靜水大師上 二月十日二日	改鑄 小泉…命		
109	F004	基碑	信譽壽院敷地宗靜水大師 九月二十三日			
110	F005	基碑	昭和九 信譽壽院敷地宗靜水大師上 九月二十三日			

附表2 石造物観察表B

No.	ID	類別	題字内容			
			正額 (1)	左 (2)・(3)	寶額 (4)	右 (5)・(6)
111	F006	石碑				
112	F007	石碑	徳業院總持室音大姉	文久三年二月廿九日		
113	F008	石碑	伊寄道	文政元年〇七月吉日 中々 □□ かん てふ	きよ ふみ みき	
114	F009	石碑				
115	F010	石碑	伊寄道	清田右衛門眞徳 用上六郎及義義貞 伊集院右衛門二階	文政……七月吉日	和国高部右衛門助有 伊集院八右衛門貞貞 清田右衛門眞徳 有田右衛門眞徳
116	F011	石碑	天保九戊戌年 親善幻庵釋教女 七月朔四日	改竄 …口類〇神命		
117	F012	石碑	高田連忠國御命		明治九年丙午八月七日	
118	F013	石碑	奉願 丙子十一月吉日 □山石真			
119	F014	手水鉢	奉願 明治九年子十一月吉日 宮内大臣 右馬工右衛門 戸高新十郎			
120	F015	石碑	奉願 丙子十一月吉日 梅津□□ 丸□ 梅津□□			
121	F016	石碑	文治二乙丑年 寶徳院殿仁壽順山大居士 正月十八日	改竄 玉刻御尊眞徳命		
122	F017	石碑	奉願		元治二年乙酉三月吉日	…公
123	F018	石碑	奉願		元治二年乙酉三月吉日	
124	F019	石碑	奉願	いよ ふて たけ	元治二年乙酉三月吉日	
125	F020	石碑	奉願		元治二年乙酉三月吉日	高津實徳
126	F021	石碑	奉願		元治二年乙酉三月吉日	
127	H006	石碣	徳宝院院殿仁壽順大居士菩薩 文久三年 秋分院殿花殿妙砂大姉 七月二十有五日	九月十日	高津實明讀文局	文化十三丙子
128	F022	石碑	天保五壬辰 法林幻光釋教子 十月二十一日			
129	F023	石碑	伊寄道石燈籠			
130	F024	石碑	伊寄道	高野□右衛門 昌徳	安土津私南門義徳	天保五年甲午十月廿一日
131	F025	石碑				文久三年八月吉日
132	F026	石碑	法隆寺少部正六位 高津勝左衛門	昭和十五年九月九日没	享年五十一歳	明治二十年二月十四日生
133	F027	石碑	奉願 高津孝徳 高津孝徳			
134	F028	石碑	奉願 高津孝徳 高津孝子 高津子 高津安子	高津通介 農田福太郎 農田福子		
135	F029	石碑	奉願 高津福介 高津安子 高津子 高津孝子			農田福子 農田福太郎
136	F030	手水鉢	水洗 高津孝徳 伊一			
137	F031	石碑	享保十四年 昌徳元歳時士 了年五月十一日□		改竄〇兼中興住彦命	
138	J001	石碑	高津家の墓		昭和四十三年十月吉日 高津孝子建之	
139	H006	石碣	徳田院院殿仁壽順大居士菩薩	八月二十二日 高津久右衛門眞徳		于隆高部四丁丙天九月吉祥日 御正額付表裏
140	H007	石碣	徳田院院殿日妙砂大姉	…〇〇七日		文治七年甲戌
141	H008	石碣	法隆寺院殿仁壽順大居士菩薩	三月朔五	高津實品讀文局	文化四丁卯辰
142	H009	石碑	伊寄白芳大姉			
143	H010	石碑	徳業院院殿鎌倉玉峯高僧大居士			
144	H011	手水鉢	奉水 肥後ノイ 二百アト 真楊ヨシ			
145	H012	石碑				
146	H013	石碑				
147	H014	石碑				
148	H015	石碑				
149	F032	手水鉢	奉願 庚午四月吉日	有馬… 真田…		
150	F033	石碑	伊集院之惠始命墓			
151	F034	石碑	藤原清古御命		清原清吉	明治十一年八月三日生 明治十四年二月十五日卒 五月七日
152	F035	石碑	轉淨口	大正七年十月□日生	高津勝彦六男 昌彦 三男	大正九年九月二日没
153	F036	石碑	奉願 川上孝			明治十四年三月五日
154	F037	手水鉢	奉願 有□ □□			明治十四年三月五日
155	F038	石碑	徳業院院殿仁壽順大居士	物乳末利九巻		明治九年丙子十一月十日



附表3 遺物観察表

報告書 番号	調査区	層	遺物種別・ 器種・型式	部位	法量 (cm)			胎土	色調 (上段:外側, 下段:内側)	時期	備考
					口径	口径	器高				
1	2T	Ⅲ	香炉	口-胴部	10.0			微細な黒色粒, 白色粒, 石英を多く含む。基質は 緻密	7.5Y3/3 10Y35/2		関西系か?
2	2T	Ⅲ	瓶	胴-底部		6.9		微細な黒色粒, 白色粒, 石英を少量含む。基質は 粗い	2.5Y8/2 (基質)7.5Y36/4 7.5Y36/3	10c	龍門可也
3	2T	I	瓶	胴部?				0.5mm大の黒色粒を多 く含む	2.5GY8/2 (基質)5Y7/2 2.5Y8/2	10c	龍潭園部か?
4	2T	Ⅲ	香炉	底部		5.2		1mm大の白色粒を多く 含む	2.5Y35/6 2.5Y35/6		
5	2T	I	皿?	底部				0.5mm以下の白色粒を 含む。基質の粒度が粗い	2.5Y8/1 2.5Y8/3		白瀬摩, 染付
6	3T	Ⅳ	土師質土器	口縁部				白色粒, 黒色粒	7.5Y36/8 10Y38/4		香川系 赤色塗布
7	3T	Ⅱ	土師質土器	底部				白色粒, 赤色粒	7.5Y36/4 7.5Y36/4		底部は赤切り後ナゲ調整
8	3T	?	土師質土器 小皿	口-底部	9.0	7.2	2.5	微細な黒色粒, 石英, 1.5mm大の粉粒	10Y38/3 10Y38/4		灯明窯
9	3T	?	小皿	口-底部	10.2	4.5	2.4	0.5-1.0mm大の黒色粒, 基質は緻密	10Y32/2 (未施釉)7.5Y35/2 10Y33/4		加治木・結良系 灯明窯
10	3T	Ⅱ		口-底部	11.6	3.5	2.7	黒色粒, 白色粒	5Y8/3 (基質) 2.5Y8/3 5Y8/3		白瀬摩 仏飯具
11	3T	?	瓶	胴-胴部		11.1		微細な黒色粒	5Y8/2 2.5Y8/2		白瀬摩 整野 千鳥印
12	3T	Ⅱ	瓶	口-胴部	12.0			基質は緻密	10Y7/1 5Y8/1		白瀬もしくは白瀬摩
13	3T	I	瓶	口-胴部	8.2			微細な白色粒, 黒色粒	7.5Y8/2 7.5Y8/2-7.5Y4/2	10c後半	龍門可也
14	3T	?	瓶	胴部				基質は緻密	10Y32/2 10Y32/2		加治木・結良系 (元立院か?) 仏花器
15	3T	Ⅱ	瓶	底部		11.8		基質は緻密	2.5Y35/1 10Y3/2		
16	3T	I	香炉	胴部				微細な黒色粒を少量含む	10Y6/2 7.5Y32/4		肥前系青磁
17	3T	?	反耳付瓶	把手				微細な黒色粒を多量に含 む	2.5GY8/2 2.5GY8/2		白瀬摩
18	3T	Ⅱ	瓶	底部		11.2		微細な黒色粒	10Y7/1 10Y7/1		白瀬摩 整野か?
19	3T	I	瓶	胴部				微細な黒色粒	5Y7/1 7.5Y38/1		白瀬摩 款耳(把手)が外れた跡あり
20	3T	I		胴部				微細な白色粒	5Y8/3 5Y8/1		近代の染付
21	3T	Ⅱ	瓶	胴部				黒色粒, 白色粒	5Y8/3 (基質) 2.5Y8/3 5Y8/3		白瀬摩
22	3T	I	罌・壺水					霏母・黒石を多量に含む。 白色粒, 灰白色粒	7.5Y4/1		宝篋印塔の一部か? 瓦質

史料

---

## 史料1-11 (垂城伝誌) (垂水市史料集(二) 14)

宝殿山 開州清水楞嚴寺末寺天眞派松堂和尚開基曹洞宗 心翁寺

知行高白參拾石余 寺地御免地

右楞嚴寺塔司心翁院御卒去の後天宗寺と改む清水より慶長二年忠仍公鹿鹿城へ取替節鹿鹿へ御建立後鹿屋下大陣全御地の節今に御建立也宝殿山を知行相尚代に五台山に改められ又道国和尚代に宝殿山に改められる也

天宗寺を寛永二年に節心寺と改められ又延宝七年に心翁寺と改められる云々開基松堂玄龍和尚寛永五年戊辰九月五日遷化鹿屋安養寺も心翁寺末寺なりしが今は楞嚴寺末寺也

## 史料1-2 (垂城伝誌) (垂水市史料集(二) 15)

一、心翁寺地 節心公御魂屋の後に敷根中勢少輔頼賢の墓有り慶長元年丙申五月五日田上城に於て卒す法号勤山教忠庵主石塔これ無き処天明年間市成願主鳥津右衛門殿御代に御建立成られ候敷根氏田上在城の節心翁寺の地に寺建立これ有り候が慶長の頃御家中木田五郎右衛門高寺へ入寺と申し伝え候其の跡に心翁寺建立か

## 史料2-1 (開府温故集) (垂水市史料集(二) 34 35)

一、宝殿山 心翁寺  
道元和尚六世通幻寂雲和尚法嗣天真自性和尚  
開基仏頂山楞嚴寺開山松堂和尚  
初宝殿山又五台山今改め宝殿山  
開山松堂和尚は勸請の由にて候  
高百三拾石斗九升餘  
内式拾五石 久治公御廟中月清院様化粧  
田の内召付けられ候現在慈船和尚代也

一、開山松堂和尚 二世丹露 三世白翁 四世龍谷 五世見外 六世慈船 七世禪室 八世東屋 九世道翁 十世梅光

一、家園一輪 久治公御寄附

一、始清水にて心翁院と号し 天宗様御葬より天宗寺と号す始は本城にこれ有りし由候不詳

一、心翁院は楞嚴寺の寺号の由にて候心翁院塔司屋敷は楞嚴寺今裏門の由にて候 節心様御死去以後寛永三年寅七月廿一日天宗寺を節心寺に相改められ候

一、久治公御代 延宝八年五月十九日 大安様仁権様御牌安置

一、心翁寺隱居屋敷本城これ有り候

一、昌岳様御牌延宝九年酉五月十九久治御安置

一、日新様大納言御牌は 貴澄公御安置

一、又五郎様御塚は市木村見樹院の上にてこれ有る由申し伝え候右御塚の由也近年迄大杉これ有り候也ども先年大風に倒れ今その跡なし  
一、千法師様御塚は今御廟敷後小原八前にこれ有り候由申し伝え候

一、元和九年の高帳にて候

一、高七拾石二升二合 天宗寺

一、高六斗壹升四合 天宗寺隱居

一、上古高寺と申すこれ有り破壊にてその跡に心翁寺召したてらと申す候これ有り候

## 史料2-2 (開府温故集) (垂水市史料集(二) 39)

一、仏頂山 清水楞嚴寺  
天真自性和尚開基越前守良慈願寺末寺

一、天宗様御靈屋これ有り内に五輪の石塔式これ有り候功山昌全と彫付けこれ 有り候安田次郎兵衛にて候一は淡月とこれ有り下の字朽て相

知らず候浜川糸右衛門にこれ有るべく候  
一、御同人様御塚これ有り候

一、御仏御米一ヶ年申一石五斗宛 天宗様日牌料の爲享保十三年申七月十一日 久典公御寄附にて候

一、御園子は大安様宝殿様石天宗様淨瑠璃

右延宝七年乙未十月 大安様御夫婦御日牌料の爲久治公御寄附にて候御地行古来より付けられ来たり候久 久治御幼少の節相減らされ候故かくの如し

一、寛政四年壬子五月十三日昼七ツ時焼失

## 史料2-3 (開府温故集) (垂水市史料集(二) 39)

一、太平山 福山大安寺

上州長源寺末寺希明派

一、大安様御石塔大風に於て破損延宝五年久治公御再興

一、大安様御牌御園子付 一、宝殿様御牌御園子付 一、戦場絵図一枚箱入 一、糸園一輪箱入

一、高式拾石

右久治公御寄附也御地行古来より付け来たり候久治公御幼少の節相減らされこの通りにて候上古小庵にて候を 征久公御再興にて候

一、以前は楞嚴寺廟下にて候近近代口事これ有りその後関東の廟下に相成る

一、戦亡位牌一幅 現住付源和尚御寄附  
一、寛政三年二月晦日燒失その外町麓迄大火に

て候

史料2-4 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))40)

一、鹿屋 安業寺

一、御仏納米毎年志石五斗宛 久典公御寄附榜版  
寺末寺にて候

一、昌岳様御牌

史料2-5 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))40)

一、撐月山 新城 浄瑠璃寺

初心翁寺末寺にて候是近代福昌寺末寺に  
成る

右忠仍公御母堂より 龍伯様御存命の内より御  
菩提の為御建立初貫明寺と申し候今に 貫明様  
御牌これ有り候右貫明寺破壊いたし候是俊良長老

と申す僧(垂水高城村百姓素生の入)自身建立  
致し福昌寺三十三世持峯和尚へ申し出し開山に  
て浄瑠璃寺と相改め候右の俊良長老は後訳これ有  
り小林の内へ住み替にて候事

史料2-6 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))40)

一、諏訪山 武州江戸 吉祥寺

右 久敏公御石塔有り寛永元年申子十月十三  
日江戸に於いて御死去御年廿三

史料2-7 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))40)

右 (武州江戸) 同 廣岳院

右 久重公御石塔有り正保四年丁亥八月廿二  
日江戸にて御死御年廿八承応三年 午八月寺  
地相直るに付銀子出る

史料2-8 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))41)

一、指月山 城州伏見 月橋院

右 久治公御灰塚有り御牌は住持たいゆう代  
に自分安置にて候  
元禄五年壬申 御死去御年四拾八右月橋院に  
位牌安置つかまつるまじき旨太守綱貴公御  
定にて候

一、指月山

右 征久公御牌有り御靈屋は佐土原高月院に  
有り慶長十五年戊辰四月九日御死去御年  
六拾壹京都五條川原にて殉死肝付治部左衛門  
日高大夫左衛門猿渡九郎兵衛久保権太左衛門  
山口藤兵衛

史料2-9 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))41)

右 (城州伏見) 高月院

右 征久公御牌有り御靈屋は佐土原高月院に  
有り慶長十五年戊辰四月九日御死去御年  
六拾壹京都五條川原にて殉死肝付治部左衛門  
日高大夫左衛門猿渡九郎兵衛久保権太左衛門  
山口藤兵衛

史料2-10 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))42)

一、大安寺

右 征久公種子鳥より御同心にて垂水御在城の  
節正殿寺のほき口に御建立にて其の後佐土原  
へ御同心の由申し伝え候垂水にて高六拾石御寄  
附湯屋平門又野里村の内一門召し付けられ候  
由垂水にて大安寺と唱え候か不詳

史料2-11 (「隴府温故集」(垂水市史料集(一))56/57)

一、忠仍公寛永十四年丁丑五月十一日鹿屋にて御造  
去御年五十三安業寺に葬り奉る殉死岩元水之助  
にて候

一、正保四年八月廿二日 久重公江戸にて御死去御  
年廿六同十一月十五日心翁寺にて御葬送この時  
田中正興坂元正安殉死正興は田中伝兵衛正安は  
坂元正九郎左衛門兩人御茶道坊主の由候石塔英園  
様御靈屋前の左右にこれ有り候もつとも西坂元

東田中にて候

一、福山様大安様御石塔は延宝五年破損にて 久治公  
御再興也忠將公御戦死以後十五年以來天正三年  
乙亥仲冬以久公御建立

御石塔之銘  
義祖島津右馬頭忠將公忠死之後誠心翁寺大安大層  
土遺跡石塔顕然于今爾來百有餘珍矣其戰攻忠烈  
今世之所称也夫不図今十月初三大風起拔不飛何塔  
辺古木軀倒而觸着宝塔忽破壞矣嗚呼

忠將公予正統之祖也報本追遠豈不補說起新造  
石塔釋其旧制度至後世不朽也

七世孫島津津美作守藤原久治欽再之  
時延宝五年歲次丁丑○天上旬(○は月に風)

一、帖佐(大安様御経塚これ有り候水禄丁卯七月十二  
日同死六拾人孝子敬白とこれ有り候御戦死より御  
七回忌に相当り候 以久公御建立相見え候水禄八  
年五月廿四日 以久公帖佐縣御拜領にて候

史料3-1 (「垂城録」(垂水市史料集(一))75/76)

一、宝蔵山 曹洞宗 菩提所 心翁寺  
飯屋元より卯の方四町拾九間

初宝蔵山又改め五台山今改め宝蔵山  
一、木像文殊菩薩 立像高さ八寸  
一、阿彌陀立像 高さ二寸六分  
一、薬師立像 高さ一尺六部  
一、観音立像 高さ一尺七部

右日新公御本尊の由にて元禄五年申正月光久公  
より新納市正様拜領之有り元禄久直主奥方へ市  
正様より相譲られ当寺へ元文三年戊午二月廿三

右日新公御本尊の由にて元禄五年申正月光久公  
より新納市正様拜領之有り元禄久直主奥方へ市  
正様より相譲られ当寺へ元文三年戊午二月廿三

日安置致され候もつとも作者は三林共に丹麿作  
一、開山は楞嚴寺十四世松堂玄龍和尚にて候寛  
水五年戊辰九月五日遷化

一、高百參拾石余 領主より寄附

一、水祿四年清水に於いて石馬頭忠將主菩提の爲  
に楞嚴寺の境内に一字を建立し心翁院と唱  
え申し候其の後文祿年中改めて心翁天宗  
寺と号し石馬頭征久主垂水に建立致され寛  
水三寅と心翁寺改められ天宗寺節心寺と号し延宝八  
年又心翁寺と相改められ候

一、正保四年支藩頭忠記死去の節光久公より  
御追善の文一通給わされ候御筆の由にて候

一、日新様大中様御位牌美作貴澄主これ願ひ  
上げ安置致され候

一、当寺地は伊地知領地の頃高寺と申す寺これ  
立の訳何宗と申す儀も相知り申さず候

史料4-1 (三國名勝図会) 善之四十四 大隅郡垂水  
(三國名勝図会) 26  
寶嚴山心翁寺 領主館より卯の方、四町餘、田上村に  
あり、清水楊梅寺の末にして、曹洞宗天真派なり、  
本尊釋迦如来、開山松堂會龍和尚、楞嚴寺十四世、  
寛水五年戊辰九月五日、遷化、當寺は水祿四年、  
島津右馬頭忠將、福山に戦死の後、菩提の爲に、  
楞嚴寺内に建立し、心翁院と云、心翁の二字は、  
忠將の法號なり、文祿四年、忠將の孫守右衛門尉  
彰久、朝鮮に卒し、遺體を楞嚴寺へ歸葬し、法藏  
の二字を采て、天宗寺と改め、寶嚴山と號す、寶  
嚴は、忠將室法名なり、其後當邑に移せり、寛水  
元年彰久の孫、又四郎敏、武州江都に卒す、同三  
年、又法藏の字を以て節心寺と改め、延寶八年、

又寺號を心翁寺と改む、初め當寺の地は、伊地知  
氏領地の頃、高寺といへる精藍ありて、破壊の跡  
に建立せしといふ、當邑の菩提寺とす、當寺の殿  
宇結構壯麗にして、華彩日に映す、客殿には、寶  
嚴山の額を掲ぐ、元祿辛巳三月吉旦とあり、當邑に  
清國福州明哲和尚、臨濟十三世僧に請ふて、  
是を書せしむ、康熙辛巳三月吉旦とあり、當邑に  
當寺の末寺多し、田上村に龍門軒 此寺は下に  
出ず、金藏寺、福壽寺、海濱村に、松岳寺、臨海庵、  
垂水村に、西福寺、宗福寺是なり、  
○秋葉宮 當寺の境内池中にあり、  
○天照大神宮 當寺の門側にあり、

史料5-1 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集) 六  
17-18, 22-23  
初代 忠將

【略】  
一、佛頂山楞嚴寺は、天真自性和尚開基之寺也。本  
門之繁栄旧日に倍す。

【略】  
一、同(水祿四年)七月十二日、肝付之徒、日州伊東  
氏之援を請ひて、大軍を分けて、大塚古城に對し、  
銳兵五百を率て、寅の一点より、竹原山を圍むこ  
めて、車騎之を救はんを欲す。家老町田加賀守忠  
林曾を執て之を諫む。忠將聽かず。肝付之伏兵、  
悉く起て急に逼る。忠將指揮奮戦して、數々重圍  
を突くと雖、出ること能はず。遂に乱軍の中に戦  
死す。是に於て、町田加賀守、其子軍四郎、石谷  
田轉、野田律師、宇宿大学左エ門、酒匂源左エ門、

三馬兵庫、能勢十郎次郎、有馬与一兵卫、野口宮  
内左エ門、池山備後、竹下和泉、調所新左エ門、  
坂本一弥太以下相従ふ勇士三十余人力戦して而し  
て死す。是に於て、新納又八郎、大寺大炊、稲田  
石見、澤成助三郎、數根樞郎兵卫、或云樞郎左エ  
門、澤右エ門、京輔左近、宮原三郎兵卫以下廿余  
人、太守公之陣より救ひて、而して俱に戦死す。  
此處に乘じて、省釣、重興、重長、日州恒吉に向  
て退去す。時に忠將四十二歳、法号心翁大安居士。  
清水楞嚴寺に葬る。

【略】  
一、佐多上野守忠成の女を娶りぬ。天正二年甲戌六月  
七日卒す。享年  
法号宝嚴妙珍大師。楞嚴寺に葬る。塚は清水郡田村  
の小城に在り。  
一、宝嚴妙珍大師 下大記

證得従前衣裏珍 光明照徹到塵々  
南方不隔即心佛 物外乾坤眼界新  
恭惟功德主 宝嚴妙珍大師  
忽省一夢幻境 直下入一無生真  
全體已獨照 古今總要律  
孤朋也 獨照也 古一辨 善惡二因  
於一解脱門頭 不一纏 善惡二因  
向一 大圓鏡上 無一見 生死尚倫  
泥牛入海没 蹤跡  
木馬嘶 風却空 春  
雖一 然与廣一 木山不 露大自在底之一句  
如何 灑下火把云  
欲一 識一 大人真妙相  
虚空半夜笑聞々

三馬兵庫、能勢十郎次郎、有馬与一兵卫、野口宮  
内左エ門、池山備後、竹下和泉、調所新左エ門、  
坂本一弥太以下相従ふ勇士三十余人力戦して而し  
て死す。是に於て、新納又八郎、大寺大炊、稲田  
石見、澤成助三郎、數根樞郎兵卫、或云樞郎左エ  
門、澤右エ門、京輔左近、宮原三郎兵卫以下廿余  
人、太守公之陣より救ひて、而して俱に戦死す。  
此處に乘じて、省釣、重興、重長、日州恒吉に向  
て退去す。時に忠將四十二歳、法号心翁大安居士。  
清水楞嚴寺に葬る。



前水平大安祖開勝威受逆焉

史料51211 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集 (六) 23)

〔初代忠符〕 女子 入来院輝正少弼重豊の室

一、天正九年辛卯五月八日卒す。享年四十八。法名英忠節心大姉。

史料5122 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集 (六) 24, 30, 31, 32)

二代 以久

一、一字を建立して、心翁院と号し、楞嚴寺の塔頭と為す。

一、水禄十年丁卯七月十二日、大安居士十七回忌に当り、大乘妙典一千部の経を帖佐郡に供養す。

経塚は東戸之内に在り。

経塚銘、為心翁大安居士者也  
奉読誦大乘妙典一千部 孝子敬白

水禄丁卯七月十二日

八十六歳

一、同年、以久清水より種子島に移る。此時清水楞嚴寺の塔頭心翁院を種子島之内ノ池田に移す。

一、慶長四年、心翁院を垂水の城下に移して、天宗寺と号す。

一、同(慶長)十五年庚戌四月九日、城州伏見に於て卒す。享年六十有一。法号、仁雄宗慈居士。高月

院に葬る。牌は京都の大雲院に在り。

此時、肝付治部右工門兼弘、日高次炊兵、狼渡左近允、久保権太左工門、山口藤兵、京都五条川原に於て殉死す。

一、北郷左工門尉時久入道一雲齋の女を娶る。後離別す。元和九年癸亥六月九日、都之城池上に於て卒す。龍峯寺に葬る。法号、考慶龍樹大姉

史料5123 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集 (六) 32)

〔初代忠符〕 女子 島津國書頭忠長室

一、寛永四年丁卯二月八日、卒す。享年七十四。法名、楊窓妙宣大姉。

史料5131 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集 (六) 34, 36)

三代 彰久

一、文禄四年七月五日、彰久重病に罹り、朝鮮国巨濟の陣中に死す。世傳云、享年二十有九。家老町田傳右工門忠義、遺骨を供養して帰朝す。清水楞嚴寺に葬る。法号は天宗慈雲大禪定門、導師松堂玄龍和尚、安田次郎兵衛義次、濱川糸右工門殉死す。

此時心翁院を改めて、天宗寺と号す。

一、同年(文禄四年)八月十日、義久公追悼之文を賜ふ。曰く

天宗慈雲は孝儀をおもんじ、れいならざるもいとわず、朝鮮から嶋といふ所へ渡海せしめ在陣ほどひさしきに、無しやうのかせにこそはれしは、もろこしの武拾四人の心さしにもおとりや

はすべきとこそおぼえて侍れ。

かへるべきみちをもしして葛のはよ

なにしら露の玉と消らん

とことには有はてぬべき身ならねは

ほとけも今は名のみなりけり

文禄四年八月十日

一、寛永十八年辛巳八月十五日、新城に卒す。享年七十九。法号は明月淨理庵主、新城貫明寺に葬る。殉死は留山助兵衛、又女一人。姓名を失す

史料5132 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集 (六) 36)

二代以久次男 忠重

一、慶長五年庚子惟新公に随ひ、関ヶ原の重囲を破て堀路に赴く。途中敵に逢て戦死す。享年廿八。法号、壽昌寺岡庵定庵居士

史料5133 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集 (六) 36)

二代以久長女 女子

一、寛永八年戊申三月廿日卒す。法号花庭玉蓮大姉

史料5134 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集 (六) 36)

二代以久三男 忠興

一、寛永十四年丁丑六月十一日、武州江行に於て卒す。享年三十九。法号は宗賢原隆青蓮院。一、忠興の二男島津主膳久富、江府之幕下に在て、

將軍家に昵近たり。此子孫は島津山城守久府  
一、同三男島津又右エ門久返は佐土原に住す。此  
子孫は島津又次郎

史料5-3-5 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 36)

(二代以久次女) 女子

一、早世、法号は桂昌芳林大姉

史料5-4 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集) (六)

四代 久信

一、寛永十四年丁丑五月十一日、鹿屋に於て卒す。享年五十三、法号は昌猷元盛居士、安養寺に葬る。殉死者は岩木水之助。

本區之子孫全無

中務村西谷に在り。

一、島津中務大輔家久の末女を娶り、後に離別也。肥後求麻城主相良内藏之助頼安に嫁し、寛永五年戊辰九月廿一日、求麻に於て卒す。享年四十六、法号は船月慈鉄大姉。

一、寛永六年己巳十月二日、又十郎久貞、伊集院丹後をして、求麻に至て喪を弔せしむ。

史料5-5-1 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 40 41)

五代 久敏

一、寛永元年甲子。江戸に於いて、瘧疾に罹る。疾病なり。世子無きに依り、家臣濱田九右衛門貞倚、

肥後権左エ衛門をして、薩州に帰て養子之事を太守家久公に訴へしむ。島津下野守久元、公に告ぐ、公、三男又十郎久貞を以つて、養子と爲す。公、白銀一〇枚宛権左エ衛門、九右衛門に賜ふ。

一、寛永元年甲子十月十三日、武州江戸に於て卒す。享年二十有奇。法号は節心良忠大居士。江戸吉祥寺に葬る。

伝曰、此時家臣高野掃部助、野口主馬、前田与右エ門出家して、吉祥寺境内に寓居し、久敏の菩提を弔ふ。後太守公之命に依り、濱田九右エ門をして、吉祥寺住持用鶴和高に告げ帰國して還俗せしむ。時に寛永二年七月廿八日也。

一、同(寛永)三年丙七月廿一日、天宗寺を改めて節心寺と号す。

一、母堂は求麻に在りて計を聞き、寛永元年十一月十七日、西小市をして、香奠銀三千疋を以て、喪を弔せしむ。

史料5-5-2 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 41)

四代久信一男 忠政

一、元和九年癸亥十月九日卒す。享年十六。法号は幻心聚徳大禪定門、神主を鹿屋安養寺に置く。

伝曰、市木村見樹院之後園に葬る。

史料5-5-3 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 41)

四代久信三男 千法師

一、同(慶長)二十年乙卯六歳早世。伝曰、鹿屋敷に葬る。

史料5-5-4 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 41 42)

四代久信四男 久章

一、同(寛永)十七年庚辰、光久公の命に依り、使節を奉じ、閏十一月廿三日、江戸に至り、將軍家に見えんと欲す。而も果さず。同十八年四月十四日、江戸を發して帰路に赴く。五月二日、京都に至り、五月十七日、太守公に背き、高野山に入り、運金院に歸る。是に於て、木之下御屋敷藏奉行伊地知本右エ門、御用人平田督之助、之に説く、男之節は太守公の命に依り京都に在り、久章諾して薩州に帰り、川辺奈福寺に寓居す。正保二年十二月十二日、谷山昌泉寺に於て、疾に伏す。享年三十。法号は松月庭柏居士領地没収也。家臣の戦死者三人。財部権之丞、山下才七、山下才次也。

或書、是より先太守久章をして、使者として、東部に赴かむ。道路之間に遅々たり。島津久元、武府にありて、其使者を勸む。久章之を聞き、則ち且つ恨み、且つ怒りて、高野山に入る。然る後、太守使を馳せ、久章をして帰國せしむるも也。

史料5-5-5 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 42)

四代久信五男 久真

一、延享七年己未九月廿九日、死。法名は仙雲雲安居士。

史料5-5-6 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 42)

四代久信五男 久真

一、延享七年己未九月廿九日、死。法名は仙雲雲安居士。

史料5-5-7 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 42)

四代久信五男 久真

一、延享七年己未九月廿九日、死。法名は仙雲雲安居士。

史料5-5-8 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 42)

四代久信五男 久真

一、延享七年己未九月廿九日、死。法名は仙雲雲安居士。

史料5-5-9 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集

(六) 42)

四代久信五男 久真

史料5-5-6 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集)

(二) 42

(四代久信六男) 久直

〔略〕

一、寛文三年癸卯十月五日、卒す。法号は心芳得庵居士。新城淨瑠璃寺に葬る。世子無嗣絶ゆ。

史料5-5-7 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集)

(二) 43

久貞 後久直

〔略〕

一、同(寛文二年)十月十一日、大守公、福昌寺に於て、久貞母堂の法事を修す。久貞、天宗寺住僧をして、祭文を献せしむ。

史料5-6 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集)

(二) 45

六代 忠紀

一、同年(寛水十五年)二月二十三日、貴門家久公卒す。同三月十日、法事を修む。忠紀祭文を献す。

〔略〕

一、同(正保)四年丁亥八月廿二日、夜、武州江戸に於て卒す。享年二十有六。法号は陽廣院殿鴻胤禪師

玉峯美閑大居士。廣岳院に葬る。(承應三年八月

晦日、廣岳院は今の二本榎寺地に移る。)即日家臣

宮原権右衛門をして、訃を垂水に伝へしむ。九月九

日葬に葬す。

一、同九月十二日、大樹家光公、林丹後守をして太守

公之第に来て、之を弔はしむ。

一、同月十四日、太守公、川上十左エ門をして、白銀

五十枚、米三十石を賜ひて、香奘と為さしむ。

一、同月廿四日、太守光久公、中江早右エ門をして、

喪を弔せしむ。

一、同十月十八日、遺骨は東海を廻て垂水に着く。公

命に依て、伊藤新右衛門、猪俣伊右衛門、之に従

ふ。

一、同十一月十二日夜、遺骨を節心寺に葬る。此夜、

田中傳兵卫正興齋、坂本九郎左衛門正安齋、殉死

す。

一、同十一月廿日、太守光久公、中江右山をして、追

悼之文を賜ふ。

文曰

惟正保四年歲在丁亥八月二十二日庚寅

謹告于干陽廣院玉峯美閑居士之靈焉嗚呼世

居諸可謂須臾不一意一夜西風落

紫荊往事蕭條而一別秋也憾深滄茫而雙眼

兩也嗚呼嗚呼嗚呼嗚呼嗚呼嗚呼嗚呼嗚呼嗚呼

悲無一役一奈一恨不己一誠哉野詩聊

伸哀情云

吊祭

二十餘霜一夢存 覺來流淚似傾

色身壞處滅非滅 蕩氣散時昏不昏

月落烏啼聞有恨 雲興龍上見無痕

秋風吹入空山去 雨打芭蕉

正斷魂

一、正保五年戊子八月二十二日、法事を節心寺に修む。

此時光久公、鎌田又七郎をして、来て折一合樽

一荷を賜はしむ。

一、同年九月七日、信国の脇指刀を光久公に献す。遺

物として也。

一、桂山城守忠能の女を娶る。萬治元年戊戌九月廿八

日卒す。法号は蘭秀白芳大姉。節心寺に葬る。

史料5-7 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集)

(二) 51-53

七代 久治

〔略〕

一、延宝七年己未十月、節心寺を改て、旧名に復す。

心翁寺と号す。此時、三十石之采地を割きて、大

安寺に二十石、楞嚴寺に十石を寄附し、祖先之善

提を修め、庵を興し、旧を復す。是故に、忠將より

久治に至るの家譜一軸を記し、楞嚴寺、大安寺、

心翁寺に納む。

〔略〕

一、同(延宝)九年辛酉七月十二日、忠將、以久、久

信之禪主を心翁寺に置く。

〔略〕

一、同(元禄)五年、公の駕に隨ひ、虎安丸を伴て、

備前に赴く。同七月廿七日、不幸にして、重病を

受け、城州伏見に於て卒す。享年四十八、法号は

聚徳院殿慈照海大居士、月橋院に葬る。同八月

廿一日、遺骨垂水に着く。葬式を修む。導師南林

寺吉州浮長和尚、月橋院境内に石塔無し。 既

あるのみは神主母の御之を宣す上云

坂元十五左門盛基、自一總角歲一近一侍久

治一最有一寵。元禄四年、久治如二江戶一

盛基從之。同五年七月、久治赴一備前、卒

於伏見。同八月、遺骨着二垂水一。盛基從

之。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。如七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

矣。明年七月、刺髮改一常任一。廟前、哀哭甚

已十二月十三日卒、年七十八

久治世の時高十石を基那に賜へり、心翁寺本門の西の地が基那神地  
の跡なり。或は、基那に賜へり。

一、公室綱貴公黒葛原治部をして香燭銀二十枚を賜ら  
しむ。

一、世子吉貴公上村茂兵衛をして来て香燭銀十枚を  
賜らしむ。

一、太守光久の二女に尚す。元禄三年庚午九月廿三日  
卒す。享年五十有一。法号 是月清院殿瑞慈

貞直大姉。心翁寺に葬る。導師福昌寺瑞祝和尚

史料5-18 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集) (六  
55-56)

八代 忠直

一、宝水二年乙酉、公室、忠直をして、大玄公 綱貴公  
なり の遺髪を高野山に供養せしむ。閏四月五日、

諸れを高野山の奥の院に納む。

一、同月 (正徳元年六月) 廿五日、卒す。享年二十有  
四。法号は性空殿浄海即瀛大居士、心翁寺に葬る。

導師は福昌寺の大春和尚

一、同年九月六日、公室、貴貴公也、諏訪市石工門を  
して来て、香燭銀十五枚を賜らしむ。世子 重貴公  
也、亦亦讚良権左エ門をして来て香燭銀五枚を賜  
らしむ。

一、同三年癸巳四月、久典、家臣梅本仲納石工門をし  
て、忠直の遺髪を高野山に供養せしむ。臨海庵の

良長之に従ふ。厚地徳元、請ふて之に従ふ。

一、新納市正久珍の女を娶れり。元文三年戊午二月十  
一日卒す。享年四十二。法号は、芳正院殿元明自

覚大姉。心翁寺に葬る。導師は同寺の高恩和尚。

一、寛保二年壬戌八月十八日、家臣桑波田政右エ門を  
して遺髪を高野山に供養せしむ。

一、元文三年二月十三日、公室、繼豊公、人をして  
香燭銀十兩を賜らしむ。同日、須磨姫主伊地知才

右エ門をして、来て、金二百疋を賜らしむ。同十  
六日、信證院夫人、橋元七右エ門をして、金百疋

を賜らしむ。栄姫主、小川喜平次をして金百疋を  
賜らしむ。

一、同月十八日、中陰法事を修す。老公、吉貴公也  
人をして来て、香燭銀十兩を賜らしむ。信證院夫

人、栄姫主、各金百疋を賜る。須磨姫主金二百疋  
を賜る。

史料5-19-1 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 56)

(八代忠直長男) 安二郎

一、同 (宝水) 五年戊子四月二三日天。法名は秀嵩幼  
松童子。心翁寺に葬る。

史料5-19-2 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 56)

(八代忠直長女) カヤ

一、同 (宝水) 六年己丑五月一日天。法号は露幻  
稚白童子。同寺 (心翁寺) に葬る。

史料5-19-3 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 56)

(八代忠直二女) 鎌鶴 (九代貴備室)

一、元文元年丙辰六月廿三日、卒す。享年二十七。法

名は蓮池院殿。

史料5-19-4 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 60、66、75)

九代 貴備

一、同 (元文) 三年戊午十一月十一日、公室、貴備及  
高津園防忠紀、高津兵庫久門を以て、御一門家と  
為す。藩中の貴族を一所持と曰ふ。是に至る等々の

貴備あり。礼遣事に起ぬ。

一、宝曆五年乙亥八月、開徳公重年公也中陰の法事を  
福昌寺に修む。貴備、祭文を献す。

史料5-19-5 (垂水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 60、66、75)

一、同 (寛政) 三年辛亥三月十日、垂水に卒す。享年  
八十四。法名は靈泰院殿寛應静山大禪伯。心翁寺  
に葬る。導師は福昌寺の岱田和尚。

一、公室、重貴公也、追水善左衛門久芳をして来て、香  
燭銀二十兩を賜らしむ。老公、重貴公也、亦銀二十兩  
を賜る。後法事を修む時は、重貴公、人をして来て、花と香と  
を賜らしむ。

一、寛政三年辛亥五月七日、貴澄、高野市衛門昌武を  
して、貴備の遺髪を高野山に供養せしむ。備道園  
之に従ふ。

一、配は忠直の女、元文元年丙辰六月廿三日卒す。享  
年二十有七。法名、蓮池院殿即心成覚大姉。心翁  
寺に葬る。

一、同月同日、老公 (吉貴公) 森川孫太郎をして、来  
て香燭銀一枚を賜らしむ。信證院夫人、赤崎彦兵  
衛をして、香燭金五百疋を賜らしむ。栄姫主鎌田  
勘助をして、香燭金百疋を賜る。

一、同年九月廿五日、太守公 繼豊公 本田孫右エ門  
をして来て香燭銀十兩を賜らしむ。公夫人金百疋

を帰る。

一、寛保二年壬戌八月十八日、桑波田政右衛門をして  
蓮池夫人の遺髪を高野山に供養せしむ。

史料51011 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 75)

(九代貴備長女 富)

【略】

一、延享二年乙丑十一月七日、卒す。年十九、法名は  
正覚院殿貞觀妙雅大姉。加治木長年寺に葬る。

一、明和五年戊子六月十三日、重家公、神主を福昌寺  
に置く。

史料51012 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 75、76)

(九代貴備次女 秀)

【略】

一、同(享保)十四年己酉八月十九日、卒す。法号は  
高月幻影童子。心翁寺に葬る。

史料51013 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 76)

(九代貴備長男 鍋十郎)

【略】

一、同(享保)年十二月十九日、夭。法号は雪庭幻消  
童子。心翁寺に葬る。

史料51014 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 76)

(九代貴備次男 清五郎)

【略】

一、同(享保)年十月三日、夭す。法号は覺本幻性童  
子。臨海庵に葬る。

子。臨海庵に葬る。

史料51015 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 76)

(九代貴備三女 銀)

【略】

一、天明四年甲辰八月廿五日、卒す。年五十三。法号  
は清浄院殿妙理日解大姉。華嚴寺に葬る。

史料51016 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 79)

(九代貴備四男 葵苗)

【略】

一、文化八年辛未二月二日、卒す。法名廣源院殿  
山蓋幡大居士。

史料51017 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 79、80)

(九代貴備五男 庄次郎)

【略】

一、文化八年辛未正月六日、卒す。年七十。法号、宋  
観院殿雪巖克明大居士。

史料51018 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 80)

(九代貴備六男 將親)

【略】

一、同(宝暦)十一年辛巳十一月七日、卒す。年十九、  
法号清雲院明月心大居士。心翁寺に葬る。

史料51019 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 80)

(九代貴備五女 薫 島津久柄室)

【略】

一、文化六年己巳九月廿六日卒す。年六十六。法号瑞

林院殿康寧繁家大姉。

(九代貴備七男 長 菱刈實祐室  
一、同十一年辛巳十二月廿九日、卒す。年十九、法号  
台基院殿峨山玄惠大居士

史料51010 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 80)

(九代貴備七女 傳)

【略】

一、文政四年辛巳十一月五日、卒す。年七十二。法名  
樹昌院梅家妙香大姉。心翁寺に葬る。

史料51011 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 77、79)

(〇代 貴澄)

【略】

一、同(安永五年二月)月十三日、日新公大中公神  
主を心翁寺に置く。

一、文化四年丁卯三月五日、垂水にて卒す。享年七十。  
法号は景福院殿観山元有大居士。心翁寺に葬る。

導師は福昌寺の自殿和尚。  
一、公室、重業公位、二階堂左門行禮をして、来りて香  
燭銀三枚を焼らしむ。老公、重業公位、世子、重業  
公位、も亦各銀二枚を焼る。

一、文化五年戊辰正月廿八日、貴品、伊集院吉左衛門  
兼親をして、貴澄の遺髪を高野山に供養せしむ。  
見佛院の長順が之に従ひ、宮原源左衛門景雄も請  
ふて之に従ふ。同三月五日、諸を高野山の奥の院  
に納む。

一、島津左衛門久甫の女を娶れり。文政七年甲申八月  
七日卒す。享年八十九。法名慈誠院殿観月妙相大  
姉。心翁寺に葬る。導師心翁寺の照峯和尚。

史料51012 (華水領主島津家譜) (垂水市史料集  
(六) 75、76)

(九代貴備次男 清五郎)

【略】

一、同(享保)年十月三日、夭す。法号は覺本幻性童  
子。臨海庵に葬る。

一、文政七年甲申十月朔日、公室 重豪公 大老公 重兼公 老公 善喜公 世子 邦久公 山田助左衛門をして、来て香熨銀十両を焼らしむ。

史料5-11-1 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 80)

(一〇代貴澄長男)

【略】  
一、同(宝曆八)年十月十三日、天、法号、幻成浮月大御童子 心翁寺に葬る。

史料5-11-2 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 80)

(一〇代貴澄長女 權 貴品室)

【略】  
一、天明六年丙午九月十日、卒す。年二十八。法号清胤院殿玉室貞香大姉。心翁寺に葬る。

史料5-11-3 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 81)

(一〇代貴澄三女 道)

【略】  
一、享和三年癸亥閏正月十日、卒す。年三十七。法号は法胤院殿心一華鮮大姉

史料5-11-4 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 81 82)

一代 貴品

一、文化十三年乙亥五月七日、卒す。年六十。法号室覺院殿仁峯宗寬大居士。心翁寺に葬る。導師は福昌寺の自殿和尚。

一、同年八月十八日、公室 重兼公 宮之原善五兵衛を

して、来て香熨銀二枚を焼らしむ。大老公 重豪公 老公 善喜公 同人をして各銀一枚を焼らしむ。

一、貴澄の女を配す。法号、清胤院。導師、福昌寺の山和尚。

一、天明六年丙午十一月十四日、重豪公、使をし香熨銀十両を焼らしむ。

一、後、島津図書的女を娶る。文化十四年丙子五月四日、卒す。年五十三。法号、芳蔭院殿兼慈梅玉大姉。心翁寺に葬る。導師は、心翁寺の照峯和尚。

一、文化十四年七月二十日、公室 善喜公、調所美左衛門をして、来て香熨銀一枚を焼らしむ。

史料5-12-1 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 82)

(二代貴品長女) 圓袈袢

【略】  
一、同年十月十一日、天。法号、玉心翁禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-12-2 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 83 84)

二代 貴柄

一、四年癸巳十月四日、卒す。年四十三。法号靈源院殿皎雲静水大居士。心翁寺に葬る。此年十一月廿九日、太守齊興公、島津相馬久平をして、府第に齋来て銀二枚を賜ひ、香熨に供せしむ。時に老公 善喜公 世子 善喜公 亦銀各一枚を賜ひ、香熨に供せしむ。

一、貴柄初の室は、島津周防忠政の女。文化十四年丁丑七月廿九日、卒す。年二十七。法名は涼相院殿殊林妙香大姉。心翁寺に葬る。同八月十日、善喜公

公、使を遣はし、銀一枚を賜ひ、香熨に供せしむ。一、再娶は義岡左平太久賢の女。文久三年癸亥二月廿九日、垂水にて卒す。年七十。法名、清草院殿兼室慈音大姉。心翁寺に葬る。三月七日、太守茂久公使を遣し、第に来て銀一枚を賜ひ、香熨に供せしむ。

史料5-12-3 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 84)

(二代貴品二女) 欽

【略】  
一、(寛政)九年丁巳七月九日、天、年五歳。法名、幻珍淨玉大禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-13-1 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 87)

(二代貴柄長男) 謙次郎

【略】  
一、四年丁卯七月廿七日、夭亡す。年僅に二歳。法名、珠樹院殿慈如桂大禪童子。心翁寺に葬る。此年十月四日、善喜公、二階堂左守行佐をして、香熨を齋し来て、府第に干て銀一枚を賜はしむ。特に老君 重兼公 世子 善喜公 亦各金二百疋を賜ひ、香熨に供へしむ。

史料5-13-2 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 87)

三代 貴興

【略】  
一、元治二年乙丑正月十八日、垂水に於て卒す。年五十六。法号は賢徳院殿仁翁柄山大居士。心翁寺に葬る。導師は心翁寺の知證和尚、同日、太守茂久

公、使を遣はし、銀一枚を賜ひ、香熨に供せしむ。一、再娶は義岡左平太久賢の女。文久三年癸亥二月廿九日、垂水にて卒す。年七十。法名、清草院殿兼室慈音大姉。心翁寺に葬る。三月七日、太守茂久公使を遣し、第に来て銀一枚を賜ひ、香熨に供せしむ。

史料5-13-3 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集 (六) 87)

三代 貴興

【略】  
一、元治二年乙丑正月十八日、垂水に於て卒す。年五十六。法号は賢徳院殿仁翁柄山大居士。心翁寺に葬る。導師は心翁寺の知證和尚、同日、太守茂久

公、新納織之丞をして、銀二枚を府第に賣らし来て香焚に供せしむ。特に久光公も亦銀一枚を賜ひ、香焚に供せしむ。

一、室は島津山城忠寛の女。明治九年丙子八月七日、卒す。年六十四。旧六月十八日、命号、眞住連張間姫命。川添別荘地之内に葬る。同日、旧知事忠義公、金二百疋を賜ひ、幣帛に供せしむ。

一、久光公、藤井十郎をして、金二百疋を賜ひ、幣帛に供せしむ。

史料5-13-3 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集(六) 88)

(二代貫柄三男) 将雄

【略】

一、(文政) 九年丙戌三月十二日、病卒。年十四歳。法名、英章院殿芳含知雄大居士。心翁寺に葬る。

史料5-13-4 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集(六) 88)

(二代貫柄五男) 将盛

【略】

一、同(天保五年) 十月十六日、卒す。年十六歳。法名、淳聽院殿天實知晚大居士。心翁寺に葬る。

史料5-13-5 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集(六) 88)

(二代貫柄二女) 經

【略】

一、萬延元年庚申二月廿七日、卒す。年三十九。法名、松仙院殿。

史料5-14-1 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集

(六) 89)

(二代貫典長女) 雅

【略】

一、天保五年甲午六月十三日、夭亡。年僅に五歳、法名、声壽院殿塚池貞薰大禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-14-2 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集(六) 90)

(二代貫典次男) 尚次郎

【略】

一、同(天保) 五年甲午十月廿一日、夭亡。年僅に二歳。法名、圭林幻光禪童子。心翁寺に葬る。

史料5-14-3 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集(六) 90)

(二代貫典三女) 銀

【略】

一、(天保) 九年戊戌七月四日、夭亡。僅に二歳。法名、湖海幻殊禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-14-4 (垂水領主島津家家譜) (垂水市史料集(六) 91)

(二代貫典四女) 暫袈袿

【略】

一、(天保) 十四年癸卯閏九月二日、夭亡。僅に五歳。法名、哲相院殿秋苗不秀禪童子。心翁寺に葬る。

史料6-1-1-1 (法規類纂) (垂水市史料集(二) 125)

一 御服忌ニ而茂御國旧式之御神事等者、古例不欠様御名代參被仰付候、

史料6-1-1-2 (法規類纂) (垂水市史料集(二) 125)